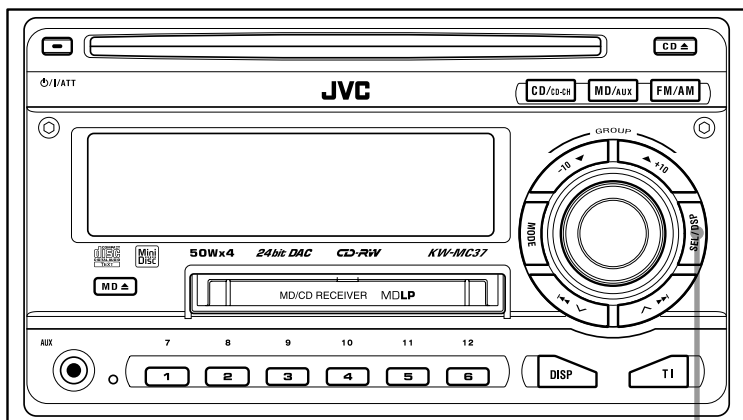


JVC

取扱説明書

MD/CDレシーバー

型名 KW-MC37



MDLP



デモ表示について

・本機の操作を20秒以上しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。解除するときは、**SEL**ボタンを2秒以上押したあと**▶▶**ボタンを押して「**DEMO**」を表示させ、回転ボリュームを左方向に回して「**OFF**」に切換えます。同様に「**L.V.METER**」を「**OFF**」または「**LEVEL 4**」に切換えます。詳しくは**38**ページの「**SEL**ボタンのモード一覧」をご覧ください。

— お買い上げありがとうございます —

⚠ご使用前の

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1552-001A

もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3~5	●CDチェンジャー(別売り) のCDを聞く	24~27
●使用上のご注意	6~7	・全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	24
・CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて	7	・曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し	25
・MDの取扱いについて	7	・数字ボタンでCDを選ぶ	25
●各部の名前	8~9	・10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ)	25
●基本操作	10	・次または前のフォルダにスキップする	25
●時計を合わせる	11	・リピート演奏(くり返し演奏)	26
●ラジオを聞く	12~15	・ランダム演奏	26
・放送局を選ぶ	12	・イントロスキャン	27
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	12	・CD演奏中の表示内容を変える	27
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	13	●iPod®やD.PLAYER(別売り)を 再生する	28~30
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	13	・曲を再生する	28
・道路交通情報を聞く	14	・再生中の表示内容を変える	29
・スキャン選局	14	・曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し	29
・FM放送が雑音で聞きにくいときは	14	・メニューからファイルを選ぶ	29
・放送受信中の表示内容を変える	15	・リピート再生	30
・アンテナリモートについて	15	・ランダム再生	30
●MDを聞く	16~19	●他の機器の音を聞く	31
・曲の頭出し/早送り・早戻し	16	・CDチェンジャー端子を使うとき	31
・長時間ステレオ再生について	16	・フロントAUX端子を使うとき	31
・MDを挿入するときは	16	●文字の入力のしかた	32~33
・グループ機能について	17	・文字の入力と修正・削除	32
・ダイレクト演奏	17	・文字配列表	33
・リピート演奏(くり返し演奏)	18	●音量・音質の調節	34~35
・ランダム演奏	18	・EQの使いかた	35
・イントロスキャン	18	・EQのメモリー内容を変える	35
・MD演奏中の表示内容を変える	19	●DSPの使いかた	36~37
・MDを取り出す	19	・リスニングポジションの設定	37
・MDの盗難防止	19	●SELボタンを使って設定を 変える	38~40
●CDを聞く	20~23	・各モードの機能説明	39~40
・曲の頭出し/早送り・早戻し	20	●放送局名一覧	41~44
・CD-R/CD-RWディスクについて	21	●故障かな?と思う前に	45~48
・CDテキストについて	21	・こんな表示のときは	47~48
・ダイレクト演奏	21	●保証とアフターサービス	49
・リピート演奏(くり返し演奏)	22	●主な仕様	50
・ランダム演奏	22	●お手入れ	51
・イントロスキャン	22	●用語索引	51
・CDのお手入れ	22		
・CD演奏中の表示内容を変える	23		
・CDを取り出す	23		
・CDの盗難防止	23		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起きたら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



・火災や感電・故障の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

本機を車載用以外には使用しない。



・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入口に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CD/MDを聞くときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCD/MDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

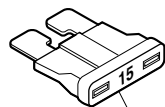
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

^{バランスド} *BTL : Balanced Transformerlessの略
^{トランスフォーメーレス} 2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



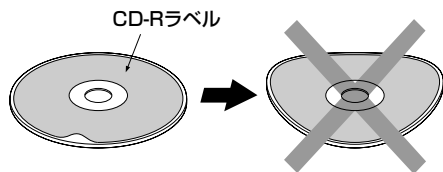
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

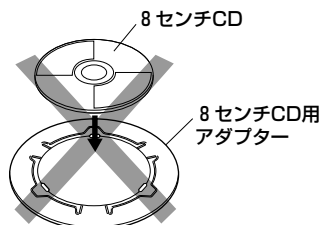
CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

- CD/CD-R/CD-RWを保管するときは専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWの取扱いについて
CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。
- 記録面に保護シールなどを張ったり、ラベル面にCD-Rラベルなどを張ったりしないでください。そのまま使用するとCDが反って音飛びしたり取り出せなくなったり、故障の原因となります。



CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

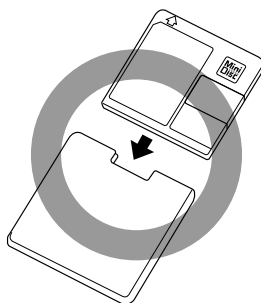
- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

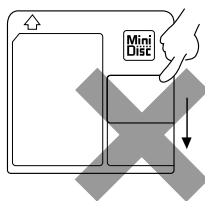
MDの取扱いについて

- MDを保管するときは



MDを本機から取り出して専用ケースに入れ、直射日光の当たる所やダッシュボードの上などは避けて保管してください。MDが変形すると、故障の原因となります。

- MDのシャッターについて



MDのシャッターは、開けられないようになっています。無理に開けると、MDが破損する原因となります。

- MDにラベルを張ってお使いになる場合

ラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になります。

- 長時間MDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

- 定期的にお手入れを

MDがほこりやゴミで汚れたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

各部の名前

— ()内のページに説明があります。—

電源/ATTボタン (→10, 23)

電源の「入」↔「切」ができます。

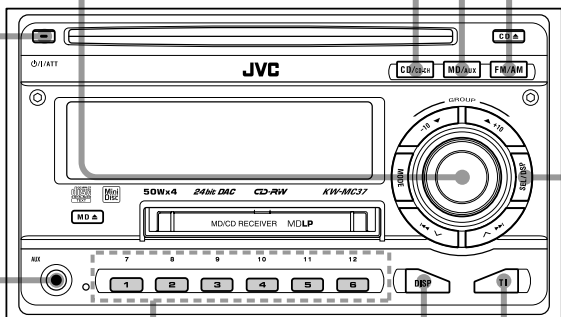
回転ボリューム

音量調節や各種の設定ができます。
(→10, 11, 34, 35, 36, 37, 38)

CD/CD-CHボタン*
(→10, 23, 24, 28, 31)

MD/AUXボタン*
(→10, 19, 31, 32)

FM/AMボタン*
(→10, 12, 32)



フロントAUX端子
(→31)

DISPボタン
(→15, 19, 23, 27, 29, 32)

TIボタン* (→14)

数字ボタン

- ・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。(→13)
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき：
1～12が機能します。(→17, 21, 25)

SELボタン、DSPボタン

音量調節のモードが選べます。(→34)
2秒以上押しと、「PSM」が表示され時計合わせなどの各種設定モードになります。
(→11, 38)
DSPのモードにすることもできます。
(→36)

* 印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(▼、▲)

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」「iPod」「D.PLAYER」のとき：
曲の頭出しや早送り、早戻しができます。(⇒16、20、25、29)
「iPod」または「D.PLAYER」でメインメニューを表示中のときは、項目を選ぶことができます。(⇒29)
- ・「ラジオ」のとき：
放送局を選局するときに使います(オート選局/マニュアル選局)。(⇒12)

-10、+10 ボタン/▼、▲ボタン/GROUPボタン

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

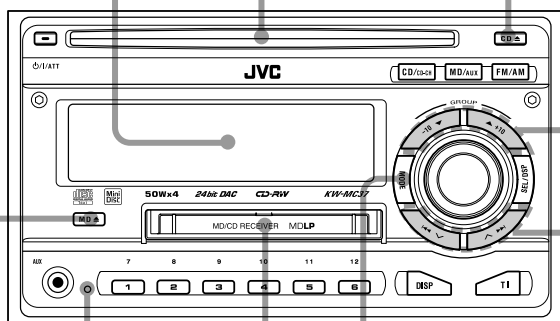
- ・「MD」「CD」「CDチェンジャー」のとき：
「MD」でGROUPボタンを押すと、グループスキップができます。(⇒17)
「CDチェンジャー」で▲(または▼)ボタンを押すと、前または次のフォルダにスキップすることができます。(⇒25)
MODEボタンを併用すると、前後10曲の頭出しができます。(⇒17、21、25)
- ・「iPod」「D.PLAYER」のとき：
「iPod」で▼ボタンを押すと、再生、一時停止ができます。(⇒28)
「D.PLAYER」で▼ボタンを押すと、再生、停止ができます。(⇒28)
▲ボタンを押すと、メニュー選択モードになります。(⇒29)
メニュー選択モード中に▼ボタンを押すと、選択した項目を決定します。(⇒29)

MD▲(取出し)ボタン(⇒19)

表示窓(ディスプレイ)

CD▲(取出し)ボタン(⇒23)

CD挿入口(⇒20)



MD挿入口
(⇒16)

モード
MODEボタン

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

リセットボタン

内蔵のマイコンをリセットするとき使います。

- ・初めて電源を入れたとき
- ・どのボタンを押しても動作しなくなったとき

・「ラジオ」のとき：(⇒12、14)

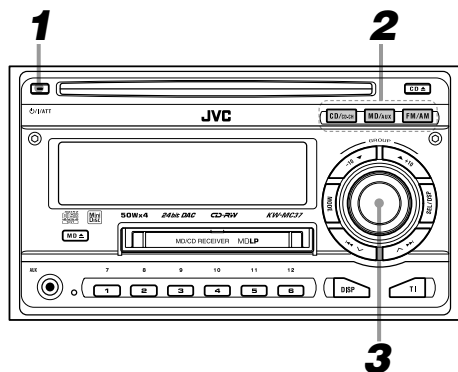
・「MD」「CD」「CDチェンジャー」「iPod」
「D.PLAYER」のとき：

(⇒17、18、21、22、25、26、27、30)

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



3 〇を回して音量を調節する



- ・調節範囲
VOLUME 00 ~ VOLUME 50
(初期設定 VOLUME 15)

音量が下がる 音量が上がる

- 音量を一時的に下げる
⏻/I (電源)/ATT ボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

1 〇を押して電源を入れる

⏻/I/ATT



- ・「WELCOME」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオ(FM1)…が表示されます。

2 いずれかのボタンを押してソース(音源)を選ぶ

	ソース(音源)	参照ページ
	「ラジオ」 FM1 → FM2 → AM1 ← AM2 ←	12 32
	MD *1 ↔ AUX	19 32
	CD-CH *2	23
	CD *1 ↔ iPod *3	24
	D.PLAYER *4	28 31

- *1 本機にCDおよびMDが入っているときのみ
- *2 CDチェンジャーが接続されているときのみ
- *3 本機にiPodを接続しているときのみ
- *4 本機にビクター製のD.PLAYERを接続しているときのみ

- これらのボタンは、ダイレクトソース切換機能のほかに電源を「入」することもできます。

●電源を「切」にする



- ⏻/I (電源)/ATT ボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

- ・1秒以上押す。

●車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作できます。

- ・CD▲(取出し)ボタン…CDの出し入れ
- ・MD▲(取出し)ボタン…MDの出し入れ
- ・DISPボタン…5秒間時計表示

ただし、これらのボタンを押して電源を入れることはできません。

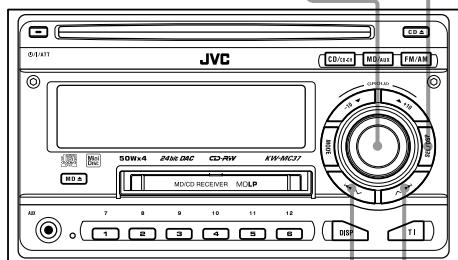
〈お知らせ〉

- 「CD-CH」などは、CD-CHのソース(音源)を外部入力に切換えると「ライン入力」になります(➡38、40ページ参照)。
- CD▲(取出し)またはMD▲(取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できますがソース(音源)は切換わりません。
- 音量・音質の調節は34~35ページをご覧ください。

時計を合わせる

時計を合わせる

3.1・3.3 1・4



2・3.2

1 SEL/RSF を2秒以上押す

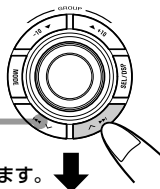


・2秒以上押す。

- ・お買い上げ時は、「DEMO」と「PSM*」が表示されます。
- ・これ以外ときは、「PSM」表示と選ばれているモードが表示されます。

15秒以内に

2 (または) を数回押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



逆に
選べます。

CLOCK HOUR

15秒以内に

3 と で現在時刻に合わせる

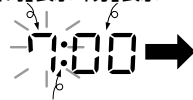
例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

3-1 「時」を7に合わせる



「時」を
戻す 「時」を
進める

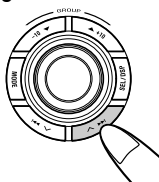
「時」表示 「分」表示



1秒ごとに点滅

3-2

「CLOCK MIN」を
選び…



3-3

「分」を30に合わせる



「分」を
戻す 「分」を
進める



15秒以内に

4 SEL/RSF を押す

- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。
- SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

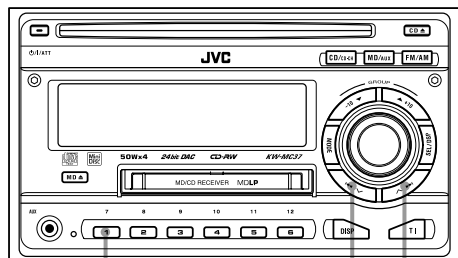
＜お知らせ＞

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1～4の操作をします。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、38～39ページをご覧ください。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、38～40ページをご覧ください。

プリファード セッティング モード
*PSM: Preferred Setting Mode(優先設定モード)の略です。

放送局を選んでメモリー（記憶）させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



2

1

例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

1 選局ボタン (または) で FM81.3MHzを選局する

→12ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの **1** を2秒以上押す



・2秒以上押す。

押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

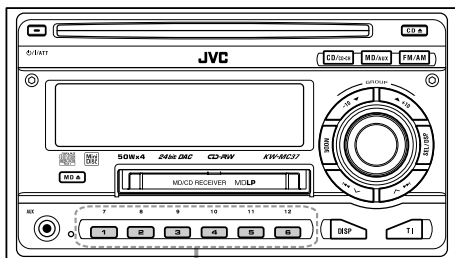
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。押す時間が短いとメモリーされません。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

数字ボタン(1～6)にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



1

1 数字ボタン(1～6)を押して選局する(プリセット選局といいます)



- 数字ボタン(1～6)にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。

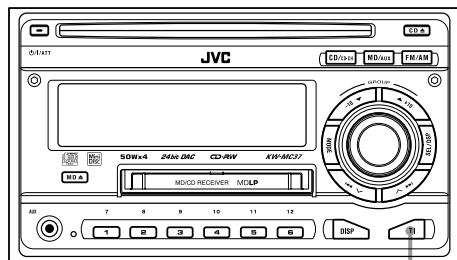
(数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください)

で注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時刻表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や時計を設定し直してください。

ラジオを聞く(つづき)

道路交通情報を聞く





1



1 T/I を押す




高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでT/I*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

● AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域するとき

AM1620kHz受信中に  (または ) を押すと、AM1629kHzが受信できます。

もう一度  (または ) を押すと、AM 1620kHzの受信に戻ります。

- このモードのときはボリュームが独立しておりますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度  を押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

*T/Iとは…

トラフィック インフォメーション
Traffic Information(交通情報)の略です。

スキャン選局

放送局探すときに使います。



- MODEボタンを2回押して「SCAN」を表示させる。
- SELボタンを押す。

自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。

放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。

聞きたい放送局のときはもう一度、MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を継続して聞くことができます。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO ON」に切替えます。



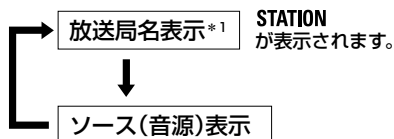
- MODEボタンを3回押して「MONO」を表示させる。
- SELボタンを押す。

表示窓に「MONO ON」と MO が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切替えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「MONO OFF」と ST が表示されます。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



STATION
が表示されます。

*1 StationSetの操作で放送局名を表示することができます。「ご利用の地域を選ぶ」(⇒38、39ページ参照)をご覧ください。ステーションエリアを設定する前は「NO NAME」が表示されます。なお、放送局名はスクロール表示されません。

アンテナリモートについて

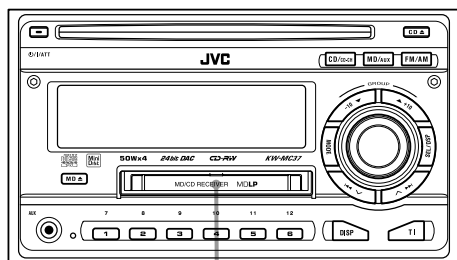
- 電動アンテナ装備車およびアンテナブラスター装備車の場合は、本機の「アンテナコントロール電源」コードを車両側の対応する端子(アンテナコントロール)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(ブラスター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”、“MD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コードの最大コントロール電流は250mAです)

〈お知らせ〉

- 放送局名を自分で入力するときは「文字の入力のしかた」(⇒32ページ)をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。

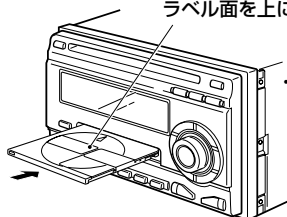
MDを聞く



1

1 MDを入れる→ソース(音源)が「MD」になり演奏がスタート

ラベル面を上にする



・途中まで入れると、「LOADING」と表示され、自動で中に引き込まれます。

01 00' 05"

曲番号

演奏経過時間

●「--- PLAY」表示中は、MDのデータを読み込んでいます。終わると曲番号表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。

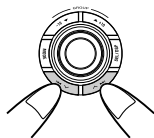
●MDが入っていることを表す「MD」が表示されます。ソース(音源)を表す「M」が表示されます。

●MD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。

〈お知らせ〉

- 通常の2倍の時間でモノラル録音されているMDは、自動的にモノラルで再生されます。
- データ用MDについて
データ用MDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

曲の頭出し／早送り・早戻し



曲の頭出し
(スキップ)

▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。

◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。

早送り・
早戻し
(サーチ)

▶▶ : 押し続けている間早送りされます。

◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。

演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

長時間ステレオ再生について

本機はMDLPに対応しています。音声データを高精度圧縮技術ATRAC 3で録音済みのMDの場合、LP 4モードは最長320分、LP 2モードは最長160分の長時間ステレオ再生が可能です(MD80使用時)。LP 2またはLP 4で録音したMDを演奏すると、表示窓に「LP2」または「LP4」が表示されます。MDLPに対応していないMDレコーダーで録音したMDは、SP(標準)モードで再生できます(SPの表示はありません)。

MDを挿入するときは

- 故障を防止するため次のことを確認してください。
 - ・ラベル面を上にする。
 - ・挿入方向を表す◀▶や▶◀の表示に従って本体に入れる。
 - ・無理に押し込まない。
(途中まで入れると自動で引き込まれます)
 - ・ラベルのはがれかかったMDは使用しない。

グループ機能について

ミニコンボなどでステレオ長時間録音(MDLP)するとき、収録曲をCDごとやアーティストごとなど、いくつかのグループに分けておくと、素早く選曲できます。

●グループごとに録音した例

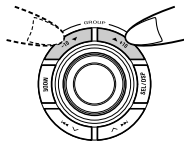
グループ1	グループ2	グループ3
曲番号 1 2 3	曲番号 4 5 6	曲番号 7 8

●聞きたいグループを選ぶ

 (または ) ボタンを押すと、選んだグループの頭の曲から聞かれます。これをグループスキップといいます。

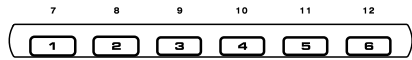
今のグループの頭へ戻る。押すごとに前のグループの頭に戻る。

次のグループの頭へ移る。



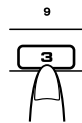
ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

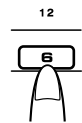


- ・ 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
- ・ 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。

例：3曲目のとき

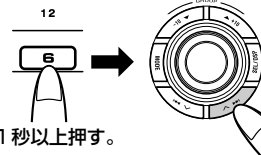


例：12曲目のとき



- ・ 13曲目以上は
▶▶▶ ボタンを併用します。

例：15曲目



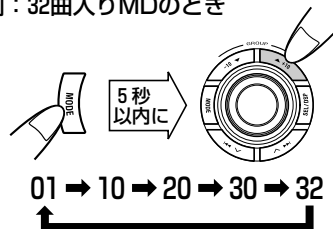
- ・ 1秒以上押す。

(3回押す)

- ・ 12+▶▶▶ ボタンを押した回数の曲が演奏されます。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りMDのとき



- ・ MODEボタンを押すと「-10」と「+10」が表示されます。
- ・ MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10(または-10)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

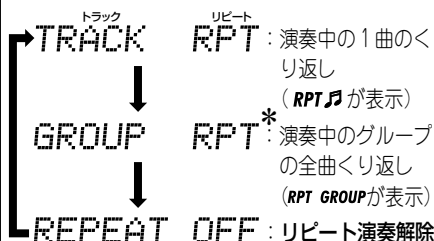
MDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- MODEボタンを2回押して「REPEAT」を表示させる。
- SELボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



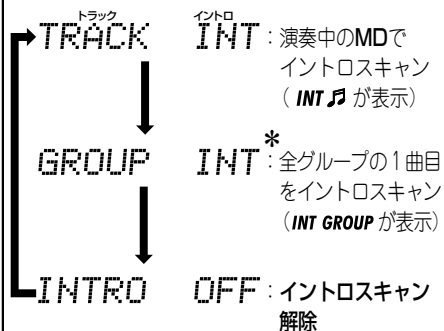
*グループ分けされているMDに限り表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させる。
- SELボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。



- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

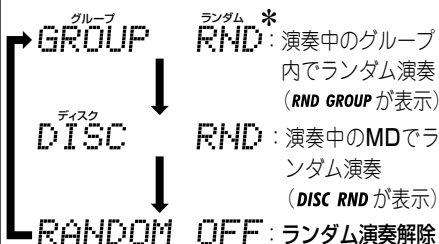
*グループ分けされているMDに限り表示されます。

ランダム演奏

MDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- MODEボタンを3回押して「RANDOM」を表示させる。
- SELボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。

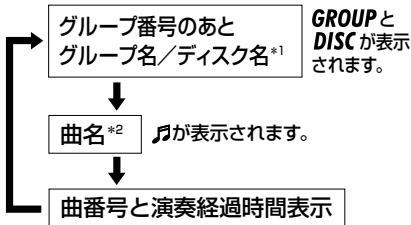


*グループ分けされているMDに限り表示されます。

MD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



* 1 グループ分けされていないMDではディスク名のみ、ディスク名が記録されていないときは、グループ名のみ表示されます。両方が記録されていないと「NO NAME」が表示されます。

* 2 記録されていないMDでは「NO NAME」表示になります。

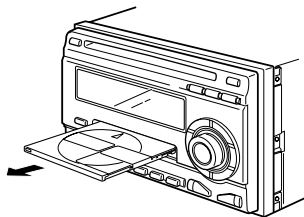
〈お知らせ〉

- ディスク名やグループ名、曲名は半角の英数字、カタカナ、記号がスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、お買い上げ時には自動で1回スクロールする状態：SCRL ONCEスクロール オンスになっています。SCRL AUTOオート(自動)またはSCRL OFF(切)に変えることもできます(→38、39ページ参照)。
- 文字表示については、英数字・カタカナなどの半角文字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

MDを取り出す



MD▲(取出し)ボタンを押すと、「EJECT」が表示されMDが出てきます。
MDを入れる前のソース(音源)に戻ります。

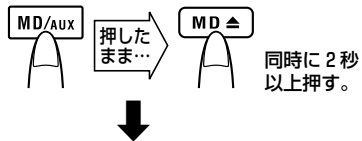


〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもMDは取り出せます。この場合、MDを取り出すと自動的に電源が切れます。

MDの盗難防止

MDを他の人が取り出せないようにすることができます。



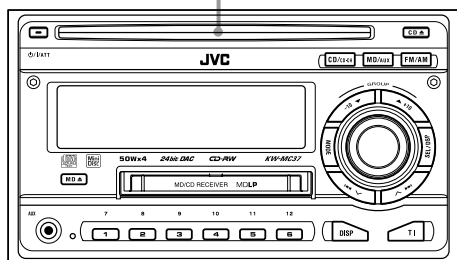
- 「MD」が点滅表示され、MDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると「EJECT OK」が点滅表示され、MDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

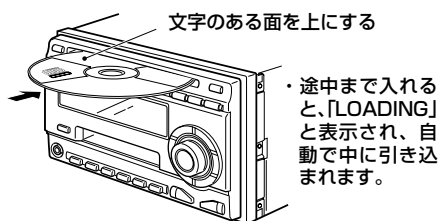
- リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDを聞く

1



1 CDを入れる→ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



01 00' 05"

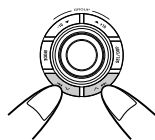
曲番号

演奏経過時間

- 「--- PLAY」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- CDが入っていることを表す「CD」が表示されます。ソース(音源)を表す「」が表示されます。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、自動的に演奏がスタートします。

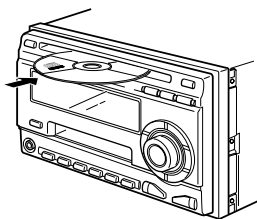
曲の頭出し／早送り・早戻し



曲の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



＜お知らせ＞

- 文字のある面に 、、 または のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることを確かめください。

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できません。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- MP3/WMAには対応していません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

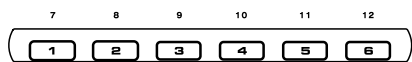
CDテキストについて



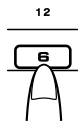
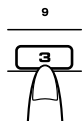
本機でCDテキスト対応のCDを演奏すると英数字で「CDテキスト」データを表示します。

ダイレクト演奏

演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。

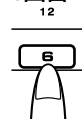


- 1～6曲目
数字ボタンを「ボン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき

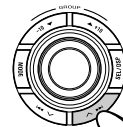


- 13曲目以上は
▶▶ ボタンを併用します。

例：15曲目



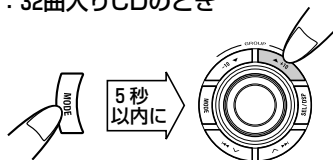
- 1秒以上押す。



- 12 + ▶▶ ボタンを押した回数の曲が演奏されます。

またMODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りCDのとき



01 → 10 → 20 → 30 → 32



- MODEボタンを押すと「-10」と「+10」が表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆を選べます。

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10(または-10)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

CDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- ・MODEボタンを2回押しして「REPEAT」を表示させる。
- ・SELボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。

TRACK RPT

- 表示窓に「RPT ♪」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- ・MODEボタンを3回押しして「RANDOM」を表示させる。
- ・SELボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。

DISC RND

- 表示窓に「DISC RND」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押します。



- ・MODEボタンを4回押しして「INTRO」を表示させる。
- ・SELボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。

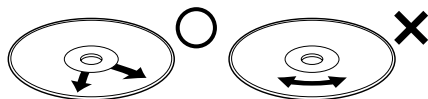
TRACK INT

- 表示窓に「INT ♪」が表示され、各曲の頭を15秒ずつ演奏します。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にかけてください。

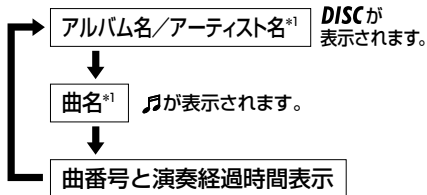


- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

CD演奏中の表示内容を変える



DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



* 1 記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、お買い上げ時には自動で1回スクロールする状態：SCRL ONCEスクロールになっていきます。SCRL AUTOオート(自動)またはSCRL OFF(切)に変えることもできます(→38、39ページ参照)。
- CDテキストの文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。

ご注意

- CDの取り出しができないときは
万一、CDの取り出しができないときは



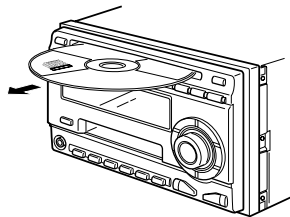
同時に2秒以上押す。

- CDが出てきますので落とさないよう、ご注意ください。

CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、「EJECT」が表示されCDが出てきます。
CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれますが、ソース(音源)は「CD」に変わりません。CDを再生したいときはCD/CD-CHボタンを押してください。)

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと自動的に電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



同時に2秒以上押す。

- 「CD」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

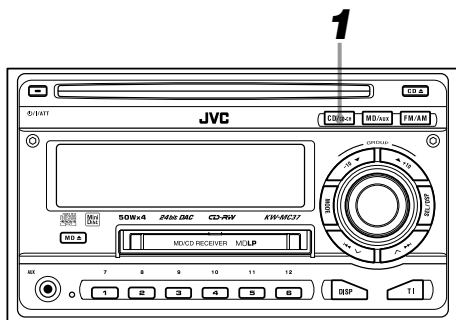
〈お知らせ〉

- リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

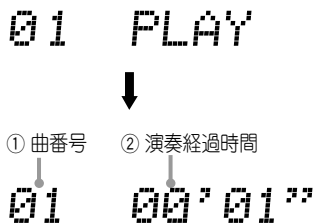
- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 **CD/CD-CH** を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

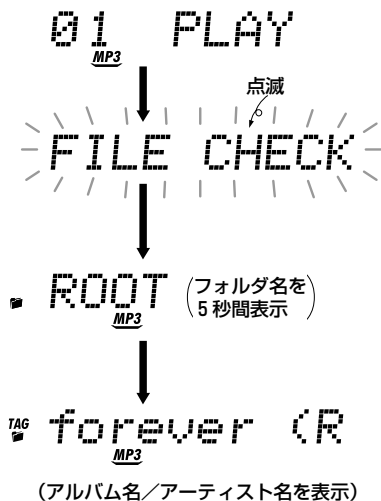
- 音楽用CDのとき
最初のCDの1曲目から演奏が始まります。



● 演奏を途中でやめる

FM/AMボタンなどを押して他のソース(音源)に切替えます。または電源を「切」にします。

- MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初のCDのファイル1から演奏が始まります。



- TAG情報が記録されているとき。

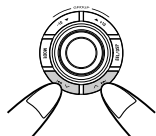
〈お知らせ〉

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
詳しくは、MP3チェンジャーに付属の「音楽用ファイルMP3 Q & A集」をご覧ください。
- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
 - ・ CH-ZシリーズのCDチェンジャー(CH-Z80シリーズとKD-MZ70シリーズを除く)
 - ・ CH-MPシリーズのMP3チェンジャー(CDテキスト対応)
 - ・ CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

- CDチェンジャー内にマガジンが入っていないときは「NO MAG」と表示されます。

曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し



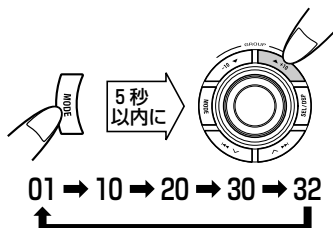
<p>曲(ファイル)の頭出し (スキップ)</p>	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中の曲(ファイル)の頭に戻ります。押すごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。</p>
<p>早送り・早戻し* (サーチ)</p>	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

*MP3ファイルの早送り・早戻し速度は一定ではありません。

10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ)

MODEボタンと+10(または-10)ボタンを使うと、フォルダ内で10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき



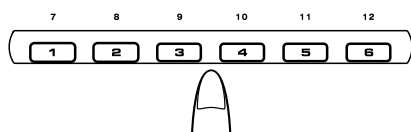
- MODEボタンを押すと「-10」と「+10」が表示されます。
- MODEボタンを押したあと+10ボタンを押すと、このような頭出しができます。-10ボタンを押すと、逆に選べます。

〈お知らせ〉

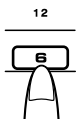
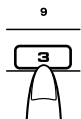
- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- +10(または-10)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



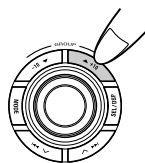
- 1~6枚目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3枚目のとき
- 7~12枚目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12枚目のとき



• 1秒以上押す。

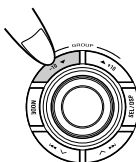
「DISC」「CHANGE」と表示されます。

次または前のフォルダにスキップする



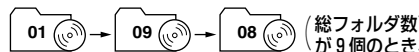
を押すと、押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき



を押すと、押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

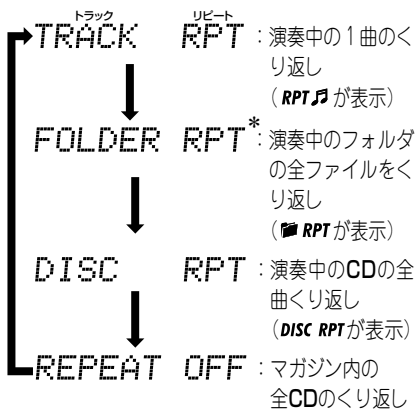
リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・2回押して「REPEAT」を表示させる。

・SELボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*MP3ディスクを演奏しているときのみ

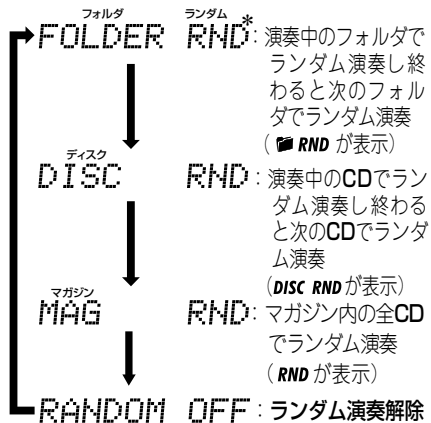
ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・3回押して「RANDOM」を表示させる。

・SELボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



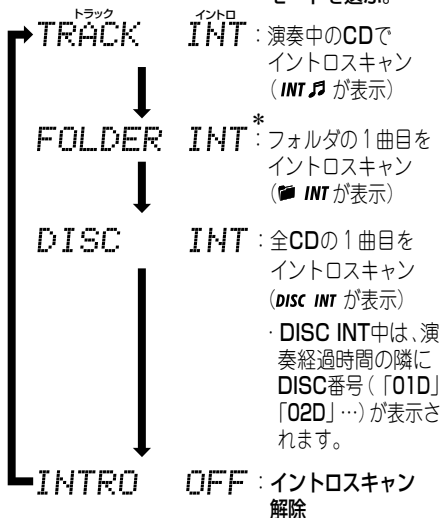
*MP3ディスクを演奏しているときのみ

イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押します。



- ・4回押して「INTRO」を表示させる。
- ・SELボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。

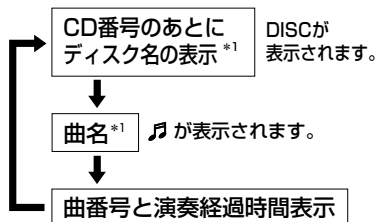


*MP3ディスクを演奏しているときのみ

CD演奏中の表示内容を変える



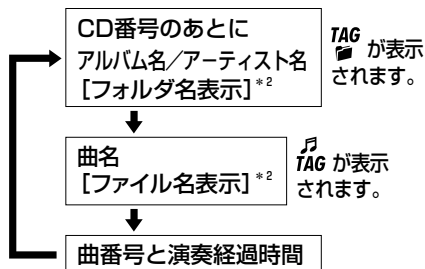
DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



*1 記録されていないと、「NO NAME」が表示されます。

●MP3ディスクのID3 TAGがあるとき(TAG DISP「オン」のとき)

TAG DISPの「オン/オフ」設定は**38, 40**ページをご覧ください。

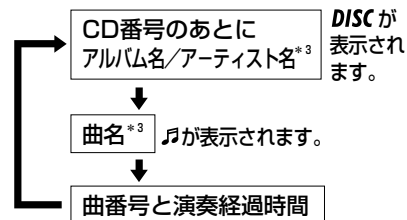


*2 []の表示は、ID3 TAGがないときまたはTAG DISP「オフ」のとき(TAGは消灯)

〈お知らせ〉

- 表示できる文字は半角英数字、半角カタカナおよび記号です。その他の文字は正しく表示されません。

●CDテキストのとき



*3 記録されていないときは、「NO NAME」が表示されます。

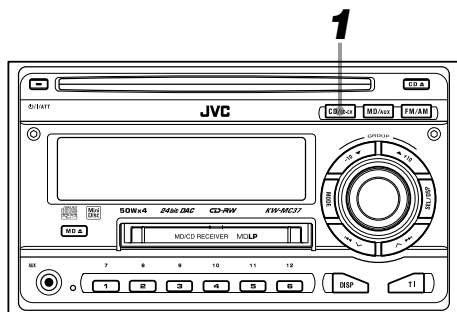
〈お知らせ〉

- 文字表示については、半角英数字、記号が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません。
- CH-X1200で日本語のCDテキストを演奏しても、日本語は表示されません。

iPod®やD.PLAYER(別売り)を再生する

- 準備**
- 本機の電源を入れる前にiPodまたはD.PLAYERを接続しておきます。

曲を再生する



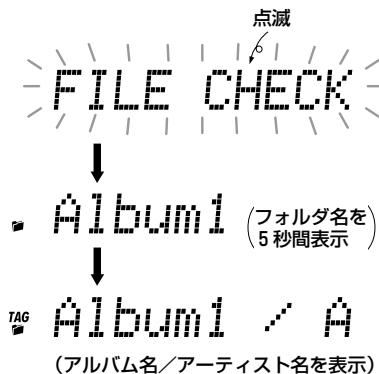
1 CD/CD-CH を押してソース(音源)を「iPod」または「D.PLAYER」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(→10ページ)。

本機にiPodを接続しているときには「iPod」が、ビクター製のD.PLAYERを接続しているときには「D.PLAYER」が選べます。


ファイルチェック後、前回再生を停止した場所から再生が始まります。

- TAG情報*1(アルバム名/アーティスト名/トラック名)のスクロール表示(TAG DISP[オン]のとき)



*1 文字は半角英数字、半角カタカナおよび記号のみ表示されます。その他の文字は_(アンダーバー)表示となります。

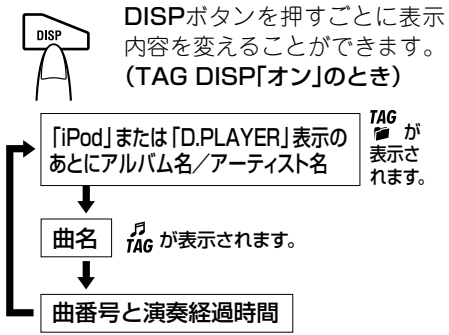
●再生を途中でやめる

 ボタンを押します。iPodの場合は「PAUSE」、D.PLAYERの場合は「STOP」と表示されます。もう一度押すと、やめたところから再生が始まります。

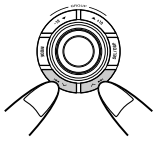
<お知らせ>

- 「EXT INPUT」設定を「iPod」または「D.PLAYER」に設定します(→38、40ページ)。
- iPodの接続には、別売りのインターフェースアダプター:KS-PD100が必要です。
- ビクター製のD.PLAYERの接続には、別売りのインターフェースアダプター:KS-PD500が必要です。
- iPodまたはビクター製のD.PLAYERの操作については、KS-PD100またはKS-PD500の取扱説明書をご覧ください。
- iPodまたはビクター製のD.PLAYERを取り外すときは、必ず本機の電源をお切りください。
- iPodは、米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

再生中の表示内容を変える



曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し



曲(ファイル)の頭出し (スキップ)	▶▶ : 押すごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。
	◀◀ : 再生中の曲(ファイル)の頭に戻ります。押すごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。
早送り・早戻し (サーチ)	▶▶ : 押し続けている間早送りされます。
	◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 再生中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。

メニューからファイルを選ぶ

iPodまたはD.PLAYERのメニューからファイルを選ぶことができます。

1 を押す

メニュー選択モードになり、メインメニューが表示されます。

5秒以内に

2 (または) を押してメニューの項目を選ぶ

前の項目を選びます。 次の項目を選びます。

- iPodのとき
 - Playlists
 - ↓
 - Artists
 - ↓
 - Albums
 - ↓
 - Songs
 - ↓
 - Genres
 - ↓
 - Composers
- D.PLAYERのとき
 - Playlist
 - ↓
 - Artist
 - ↓
 - Album
 - ↓
 - Genre
 - ↓
 - Track

5秒以内に

3 項目を選んだ状態で を押す

選んだ項目が決定されます。項目によっては、さらに詳細項目が表示される場合があります。このようなときは、手順**2**と**3**をくり返してファイルを選択します。

- 項目を選んでいるときに を押すと1つ上の階層に戻ります。
- 項目を選んでいるときに (または) を押し続けると10項目ずつ飛ばして項目が選べます。

4 ファイルを選んだ状態で を押す

選んだファイルの再生が始まります。

iPod®やD.PLAYER(別売り)を再生する(つづき)

リピート再生(くり返し再生)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・1回押して「REPEAT」を表示させる。

・SELボタンを押してリピート再生のモードを選ぶ。

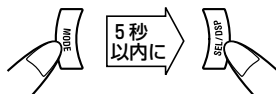
→ **ONE RPT** : iPodのリピート「1曲」、またはD.PLAYERのリピートモード「1曲」と同じです。
(RPTが表示)

↓
ALL RPT : iPodのリピート「すべて」、またはD.PLAYERのリピートモード「すべて」と同じです。
(DISC RPTが表示)

↓
REPEAT OFF : リピート再生解除

iPodのランダム再生

収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・2回押して「RANDOM」を表示させる。

・SELボタンを押してランダム再生のモードを選ぶ。

→ **ALBUM RND** *1 : iPodのシャッフル「アルバム」と同じです。
(RNDが表示)

↓
SONG RND : iPodのシャッフル「曲」と同じです。
(RNDが表示)

↓
RANDOM OFF : ランダム再生解除

D.PLAYERのランダム再生

収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・2回押して「RANDOM」を表示させる。

・SELボタンを押してランダム再生のモードを選ぶ。

RANDOM ON : D.PLAYERのランダムプレイ「オン」と同じです。
(RNDが表示)

↑ ↓
RANDOM OFF : ランダム再生解除

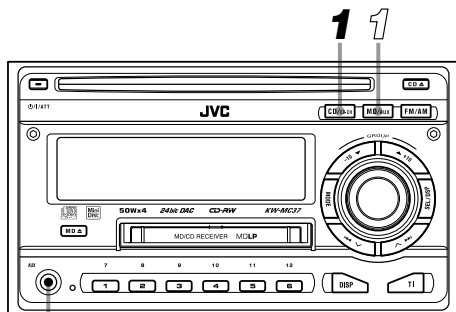
*1 メニュー選択モード(⇒29ページ)で「Albums」→「All Albums」を選んだ場合にだけ機能します。

他の機器の音を聞く

CDチェンジャー端子を使うとき

準備

- 変換コード：KS-U57/KS-U58 (別売り)を使って本機背面のCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- CD-CHのソース(音源)を「LINE INPUT」に切換えておきます(→38、40ページ参照)。



フロントAUX端子

1 CD/CD-CHを押してソース(音源)を「LINE INPUT(ライン入力)」にする



- * 本機にCDが入っているときのみ
- ・表示窓が「LINE INPUT」表示に変わります。



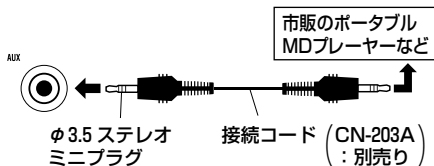
〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャー/iPod/D.PLAYERを接続しているときは、LINE INPUTがご利用になれません。

フロントAUX端子を使うとき

準備

- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



φ3.5 ステレオミニプラグ

接続コード (CN-203A) : 別売り

1 MD/AUX を押してソース(音源)を「AUX INPUT」にする



- * 本機にMDが入っているときのみ
- ・表示窓が「AUX INPUT」表示に変わります。

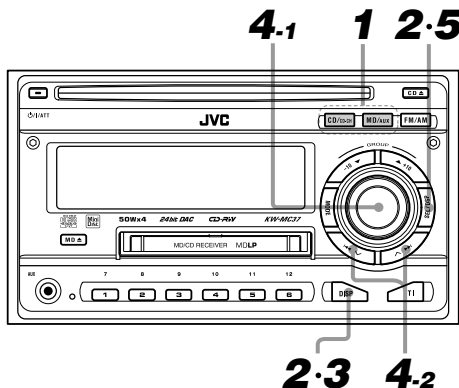
2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、SEL/DSPボタンを使って「AUX ADJ」を選び入力感度を調節します(→38、40ページ参照)。

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

放送局名を32局分／最大10文字、AUXは10文字まで入力できます。

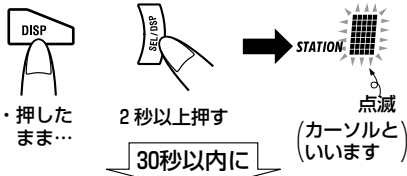


1 FM/AM または MD/AUX を押してソース(音源)を「ラジオ」または「AUX」にする

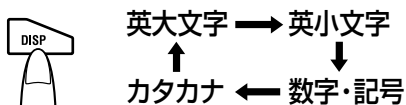
・「ラジオ」の場合、放送局を受信します。

2 DISP を押したまま SEL を同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



3 DISP を押して入力したい文字の種類を選ぶ



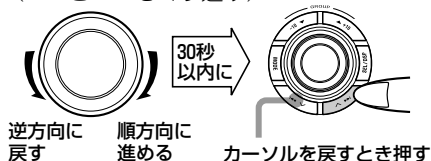
・カーソルと文字の種類の手元文字が交互に点滅表示されます。

文字の種類については33ページの「文字配列表」をご覧ください。

30秒以内に

4 と で局名を入力する

(4-1と4-2をくり返す)



4-1 文字を選び… **4-2** カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームを回して正しい文字を上書きします。
- ・スペース(空白)を選んで▶▶または◀◀ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「AUX INPUT」表示を別の名前に変更するとき、上書きで修正します。

30秒以内に

5 を押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。このあと必ずSELボタンを押して確定します。これにより削除されます。
- ・登録してある局名の変更はできませんが、削除はできません。

〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ずSELボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・33局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。

文字配列表

● 英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

● 英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

● 数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

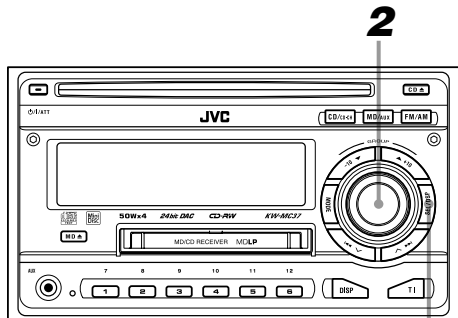
● カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
ー	・	ゝ	(空白)						

〈お知らせ〉

- 本機は、この文字配列表以外の文字・記号は入力できません。
- 自分で入力した放送局名をメーカープリセットの放送局名に戻すときは、**32**ページの手順**1**、**2**のあとDISPボタンを1秒以上押して放送局名を全て消し、SELボタンで確定します。そのあと**38**、**39**ページのStationSetの操作で「ご利用の地域」を選びます。

音量・音質の調節



1 **SELECT** をくり返し押して調節したい項目を選ぶ



・1回押しすと「DSP」が表示されます。

ソース(音源)表示 → DSP (→36~37ページ参照)

BAL 00 EQ (→35ページ参照)

FADER 00 BASS 00

LOUD OFF ← TREBLE 00

・音量調節(VOLUME)のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 **SELECT** を回して音量・音質を調節する

・右上の表をご覧ください。

BASS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TREBLE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
LOUD (ラウドネス)	通常の音質 (ラウドネス OFF)	小音量時の低音・ 高音を増強
FADER (フェーダー)	フロントの音量 が下がる	リアの音量が下 がる
BAL (バランス)	右チャンネルの 音量が下がる	左チャンネルの 音量が下がる
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
BASS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TREBLE(高音)	00(フラット)	-06~+06
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア R06~ ^{フロント} F06
BAL(バランス)	00(センター)	リフト L06~ ^{ライト} R06
VOLUME(音量)	15	00~50*

*「AMP GAIN」を「LOW PWR」に設定するとVOLUME(音量)の調節範囲が00~30に変わります(→38、40ページ参照)。

● ラウドネスコントロールについて

ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓に**LOUD**と表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。

〈お知らせ〉

- ・フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- ・調節したレベルが表示窓に表示されます。

EQの使いかた

お聞きになる音楽のジャンルに合わせてEQ(イコライザー)のパターンを選びます。

1  を2回押して「EQ」を選ぶ

- ・「EQ」が表示されたあと、設定されているEQのパターン(お買い上げ時は「USER」)が表示されます。


2  を回してEQのパターンを選ぶ

- ・「ROCK～JAZZ」を選ぶと、EQが表示されます。

左方向に回すと逆を選べます。



5秒以内に

3  を6回押して、もとのソース(音源)表示に戻す

- ・SELボタンを押さないときは、5秒後に自動で元のソース(音源)の表示に戻ります。

EQのメモリー内容を変える


EQの各パターンは、更にお好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ


- ・ラジオ、MDまたはCD、CDチェンジャーなどから選びます。

2 EQのいずれかのパターンを選ぶ(左の手順1～2参照)

- ・USER～JAZZのいずれかが選べます。

3  をくり返し押して「BASS」、「TREBLE」および「LOUD」のいずれかを選ぶ

- ・現在のレベルが表示されます。

4  を回して音質を調節する

- ・手順3と4をくり返して「BASS」と「TREBLE」および「LOUD」を調節します。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動でソース(音源)の表示に戻ります。調節したレベルが自動的にメモリーされます。

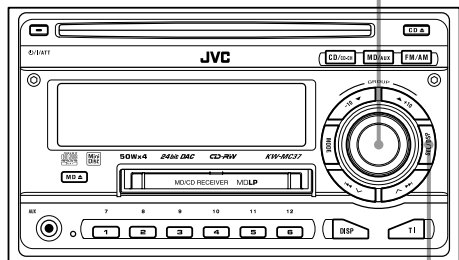
〈お知らせ〉

- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「ON」に設定されております。
- リセットボタンを押すと、調節したEQのパターンは、お買い上げ時の状態に戻ります。

DSPの使いかた

- ・本機には、あらかじめ5つの音場がメモリーされています。
ソース(音源)の再生音に合わせて音場を選べば、演奏会場や劇場の雰囲気再現されます。

2




1・3

●音場の呼び出し

1  を押す



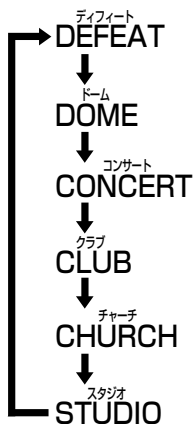
- ・「DSP」が表示され、設定されているDSP (お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

2  を右方向に回して音場を選ぶ




左方向に回すと逆を選びます。

- ・DOME～STUDIOを選ぶと「DSP」が表示されます。



5秒以内に

3  を7回押す



ソース(音源)の表示に戻ります。

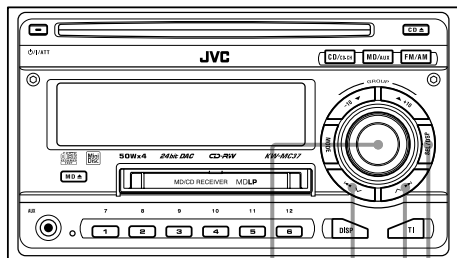
- ・DSPボタンを押さないときは、5秒後に自動でソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- 各音場はこんな音楽の再生に使います。
 - ・DEFEAT : 入力された音がそのまま出力されます。
DSPモードを「切」にしたとき選びます。
 - ・DOME : ドーム球場などのライブ盤
 - ・CONCERT : コンサートのライブ盤など
 - ・CLUB : ヘビメタルやロックバンドの演奏など
 - ・CHURCH : バロック音楽など
 - ・STUDIO : 録音スタジオでのライブ盤など

リスニングポジションの設定

聞く位置に合わせてリスニングポジションを選ぶことにより、DSPの効果が改善されます。




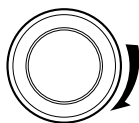
2 3 1-4

1  を押す



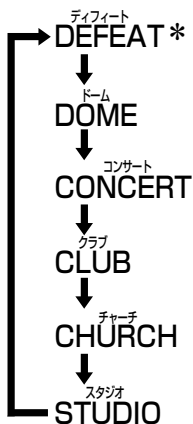
・「DSP」が表示され、設定されているDSP (お買い上げ時は「DEFEAT」)が表示されます。

2  を右方向に回して音場 (DOME～STUDIO)を選ぶ



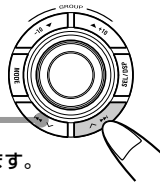
左方向に回すと逆を選べます。

*DEFEATを選んだときは、リスニングポジションを設定することはできません。

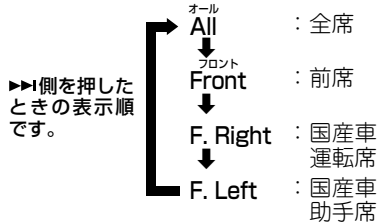


5秒以内に

3  (または ) でリスニングポジションを選ぶ



逆を選べます。



5秒以内に

4  を押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

- リセットボタンを押すと、リスニングポジションは、「All」に戻ります。

各モードの機能説明

デモ
DEMO

表示窓のデモ表示を出なくすることができます。

- オール タイム ALL TIME : ソース(音源)表示から20秒後に自動的にデモ表示
- インターバル INTERVAL : 20秒ごとにソース(音源)表示とデモ表示が交互に変わる
- OFF : デモ表示なし

クロック ディスプレイ
CLOCK DISP

本機の電源を「切」にしたとき、表示窓に時計を表示させることができます。

- CLOCK OFF : 表示なし
- CLOCK ON : 電源「切」のとき時計表示
- CLOCK DEMO : 電源「切」のときの時計とアニメ表示

〈お知らせ〉

- SELボタンを使った各種の設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。
- 車のエンジンキーが「オフ」でも、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「CLOCK ON」または「CLOCK DEMO」に設定しないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

ディマー
DIMMER

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

- DIM AUTO : 車両のライトのON/OFFに連動して明るさが変わります
(本機のイルミネーションコードを車両のイルミネーションに接続しておきます)
- DIM OFF : 明るさは変わりません
- DIM ON : 常時暗くなります

ステーションセット
StationSet

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- エリアナシ : 放送局名は表示しません
- ホッカイドウ、トウホク、カントウ、チュウブ、キンキ、チュウゴク、シコク、キョウシュウ、オキナワ : 「ご利用の地域」を選んでください
- 地域ごとの「放送局名一覧」は41～44ページをご覧ください。

コントラスト
CONTRAST

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- コントラスト CONTRAST 1 ~ CONTRAST 10

スクロール
SCROLL

MDやCDチェンジャー(MP3ディスク、CDテキスト)の文字表示がスクロール表示されるときモードを変えることができます。

- スクロール ワンス SCRL ONCE : 曲が変わったとき、またはDISPボタンで表示内容を切ったとき1回スクロール
- SCRL AUTO : スクロールをくり返す
- SCRL OFF : スクロールしません

(放送局名はスクロール表示されません)

SELボタンを使って設定を変える(つづき)

エクスターナル インプット

EXT INPUT

CDチェンジャー端子に他の機器を接続したときは「LINE INPUT」に切替えます。ソース(音源)を「ラジオ」にしてから切替えます。

- **CD CHANGER*** : CDチェンジャーまたは(iPod) iPodやビクター製の(D.PLAYER) D.PLAYERをつないだとき
- **LINE INPUT** : 他の機器をつないだとき

*接続した機器により表示が変化します。

エーユーエックス アジャスト

AUX ADJ

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

- **A.ADJ** 00~A.ADJ 05の範囲で調節できます。

タグ ディスプレイ

TAG DISP

MP3ディスクのID3 TAG表示を「オン/オフ」することができます。

- **TAG ON** : ID3 TAG表示をする
- **TAG OFF** : ID3 TAG表示はしない

パワー フラッシュ

PWR FLASH

エンジンキーを「OFF」にしたとき、本機のランプが点滅して電源が切れたことをお知らせします。

- **OFF** : エンジンキーを「OFF」にしたときランプを点滅させない
- **ON** : エンジンキーを「OFF」にしたときランプを点滅させる

レベル メーター

L.V. METER

表示窓のレベルメーターの表示内容を切替えることができます。入力信号に応じて振れます。

- **ALL** : LEVEL 1~4のくり返し
- **LEVEL 1** : } LEVEL 1と3は上の表示部
- **LEVEL 2** : } が、LEVEL 2は上と下の表示
- **LEVEL 3** : } 部がレベルメーターになります。LEVEL 1~3で振れかたは異なります。
- **LEVEL 4** : 下の表示部のみがレベルメーターになります。
- **OFF** : レベルメーターなし

アンプ ゲイン

AMP GAIN

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続したスピーカーの最大入力ワット数に合わせて切替えます。

- **HIGH PWR** : スピーカーの最大入力^{パワー}が50 Wを超えるとき(VOLUME 00~VOLUME 50)
- **LOW PWR** : スピーカーの最大入力^{パワー}が50 W以下のとき(VOLUME 00~VOLUME 30)

タイム シグナル

T. SIGNAL

1時ちょうど、2時ちょうどなど、時報のように時刻のデモ表示をします。

- **ON** : 時刻のデモ表示あり
- **OFF** : 時刻のデモ表示なし

ミュートイング

MUTING

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。なお、ミュートイング中、CDの演奏は停止しません。

- **MUTING 1** : **ミュートイング**コード(茶)を接続したあと、通常はこの設定で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- **MUTING 2** : MUTING 1ではミュートイングが正しく動作しないときこの設定にして、ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- **OFF** : 本機能を使用しないとき。または1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この設定にします。

なお、ミュートイングによって音声がでないときは、本機の表示窓に「MUTING」が点滅表示されます。

(市販の全てのナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません)

放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	NHK第1	NHKダイ1	札幌	567kHz
〃	〃	釧路	585kHz	
〃	〃	帯広	603kHz	
〃	〃	旭川	621kHz	
STVラジオ	STVラジオ	函館	639kHz	
北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	〃	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	北見	702kHz
	〃	〃	札幌	747kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	旭川	864kHz
	〃	〃	室蘭	864kHz
	STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz
	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz	
〃	〃	帯広	1,125kHz	
〃	〃	釧路	1,152kHz	
NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz	
STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz	
〃	〃	稚内	1,368kHz	
〃	〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
東	FM岩手	FMイフテ	盛岡	76.1MHz
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz
	〃	〃	仙台	82.5MHz
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz
	〃	〃	福島	85.3MHz
東	〃	〃	青森	86.0MHz
	〃	〃	秋田	86.7MHz
	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz
	〃	〃	山形	540kHz
	IBC岩手放送	IBCイフテホウソウ	盛岡	684kHz
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz
	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz
北(AM)	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz
	東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz
	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz
関東地方(FM)	インターFM	インターFM	東京	76.1MHz
	FM栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
	放送大学	ホウソウダイガク	東京	77.1MHz
	BAY-FM	BAY-FM	船橋	78.0MHz
	FM-FUJI	FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz
	放送大学	ホウソウダイガク	前橋	78.8MHz
	NACK 5	NACK 5	さいたま	79.5MHz
	TOKYO FM	TOKYO FM	東京	80.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	宇都宮	80.3MHz
	〃	〃	千葉	80.7MHz

SEEボタンを使って設定を変える(つづき)・放送局名一覽

放送局名一覽(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
関東地方(FM)	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz	
	〃	〃	横浜	81.9MHz	
	〃	〃	東京	82.5MHz	
	〃	〃	水戸	83.2MHz	
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	さいたま	85.1MHz	
	FM群馬	FM群馬	前橋	86.3MHz	
関東地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京	594kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	〃	693kHz	
	AFN	AFN	〃	810kHz	
	TBSラジオ	TBSラジオ	〃	954kHz	
	文化放送	フカホウソウ	〃	1,134kHz	
	茨城放送	イバラキホウソウ	水戸	1,197kHz	
	ニッポン放送	ニッポンホウソウ	東京	1,242kHz	
	ラジオ日本	ラジオニッポン	横浜	1,422kHz	
	栃木放送	トチギホウソウ	宇都宮	1,530kHz	
		FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz	
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz	
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz	
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz	
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz	
	FM長野	FM ナガノ	美ヶ原	79.7MHz	
	岐阜FM	ギフ FM	高山	80.0MHz	
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz	
中部地方(FM)	FM AICHI	FMA	名古屋	80.7MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	富山	81.5MHz	
	〃	〃	金沢	82.2MHz	
	〃	〃	新潟	82.3MHz	
	〃	〃	名古屋	82.5MHz	
	FM とやま	FM トヤマ	富山	82.7MHz	
	FM-FUJI	FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz	
		NHK-FM	NHK-FM	福井	83.4MHz
	〃	〃	岐阜	83.6MHz	
	〃	〃	長野	84.0MHz	
〃	〃	甲府	85.6MHz		
〃	〃	静岡	88.8MHz		

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタニホンホウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz
	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz	
〃	〃	甲府	927kHz	
NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz	
CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz	
信越放送	シンエツホウソウ	長野	1,098kHz	
北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢	1,107kHz	
新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟	1,116kHz	
NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz	
東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz	
NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz	
静岡放送	シズオカホウソウ	静岡	1,404kHz	
岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz	
NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz	
〃	〃	福井	1,521kHz	
〃	〃	新潟	1,593kHz	
〃	〃	甲府	1,602kHz	
近畿地方(FM)	FM CO-CO-LO	CO-CO-LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM 三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	〃	京都	82.8MHz
	〃	〃	大津	84.0MHz
	〃	〃	和歌山	84.7MHz
	FM 大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz
	NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz
	〃	〃	奈良	87.4MHz
	〃	〃	大阪	88.1MHz
	FM 京都	α-STATION	京都	89.4MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
近畿地方(AM)	AM KOBE	AM KOBE	神戸	558kHz
	NHK第1	NHKダイ1	京都	621kHz
	〃	〃	大阪	666kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大阪	828kHz
	ABCラジオ	ABCラジオ	〃	1,008kHz
	KBS京都	KBSキョウト	京都	1,143kHz
	MBSラジオ	MBSラジオ	大阪	1,179kHz
	ラジオ大阪	ラジオオオサカ	〃	1,314kHz
	和歌山放送	ワカヤマホウソウ	和歌山	1,431kHz
	中国地方(FM)	岡山エフエム放送	FMオカヤマ	岡山
エフエム山陰		エフエムサンイン	松江	77.4MHz
広島FM		ヒロシマFM	広島	78.2MHz
FM山口		FMヤマグチ	山口	79.2MHz
NHK-FM		NHK-FM	松江	84.5MHz
〃		〃	山口	85.3MHz
〃		〃	鳥取	85.8MHz
エフエム山陰		エフエムサンイン	浜田	86.6MHz
NHK-FM		NHK-FM	広島	88.3MHz
〃		〃	岡山	88.7MHz
中国地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	岡山	603kHz
	〃	〃	山口	675kHz
	NHK第2	NHKダイ2	広島	702kHz
	山口放送	ヤマグチホウソウ	周南	765kHz
	山陰放送	サンインホウソウ	米子	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	下関	1,026kHz
	NHK第1	NHKダイ1	広島	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	鳥取	1,125kHz
	NHK第1	NHKダイ1	松江	1,296kHz
	中国放送	チュウゴクホウソウ	広島	1,350kHz
NHK第1	NHKダイ1	鳥取	1,368kHz	
中国地方(FM)	NHK第2	NHKダイ2	山口	1,377kHz
	〃	〃	岡山	1,386kHz
	山陽放送	サンヨウホウソウ	岡山	1,494kHz
	AFN	AFN	岩国	1,575kHz
	NHK第2	NHKダイ2	松江	1,593kHz
	四国地方(FM)	FM香川	FMカガワ	高松
FM愛媛		FMエヒメ	高松	79.7MHz
FM徳島		FMトクシマ	高松	80.7MHz
FM高知		FMコウチ	高知	81.6MHz
NHK-FM		NHK-FM	高徳	83.4MHz

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
四国地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	高松	86.0MHz
	〃	〃	高知	87.5MHz
	〃	〃	松山	87.7MHz
四国地方(AM)	高知放送	コウチホウソウ	高知	900kHz
	NHK第1	NHKダイ1	徳島	945kHz
	〃	〃	松山	963kHz
	〃	〃	高知	990kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高松	1,035kHz
	南海放送	ナンカイホウソウ	松山	1,116kHz
	NHK第2	NHKダイ2	高知	1,152kHz
	四国放送	シコクホウソウ	徳島	1,269kHz
	NHK第1	NHKダイ1	高松	1,368kHz
	西日本放送	ニシニホンホウソウ	〃	1,449kHz
NHK第2	NHKダイ2	松山	1,512kHz	
九州地方(FM)	Love FM	Love FM	福岡	76.1MHz
	FM中九州	FMナカキュウシュウ	熊本	77.4MHz
	FM佐賀	FMサガ	佐賀	77.9MHz
	CROSS FM	CROSS FM	福岡	78.7MHz
	SMILE-FM	SMILE-FM	長崎	79.5MHz
	FM鹿児島	FMカゴシマ	鹿児島	79.8MHz
	FM福岡	FMフクオカ	福岡	80.7MHz
	NHK-FM	NHK-FM	佐賀	81.6MHz
	FM宮崎	FMミヤザキ	宮崎	83.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	長崎	84.5MHz
〃	〃	福岡	84.8MHz	
〃	〃	熊本	85.4MHz	
九州地方(FM)	NHK-FM	NHK-FM	鹿児島	85.6MHz
	〃	〃	北九州	85.7MHz
	〃	〃	佐世保	86.0MHz
	〃	〃	宮崎	86.2MHz
	FM大分	FMオオイタ	大分	88.0MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	88.9MHz
九州地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	宮崎	540kHz
	〃	〃	鹿児島	576kHz
	〃	〃	福岡	612kHz
	NHK第1	NHKダイ1	大分	639kHz
	〃	〃	長崎	684kHz
	〃	〃	熊本	756kHz
NHK第2	NHKダイ2	熊本	873kHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州 地方 (AM)	宮崎放送	ミヤザキホウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタホウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンホウソウ	隼人	1,107kHz
	熊本放送	クマモトホウソウ	熊本	1,197kHz
	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	〃	〃	鹿児島	1,386kHz
KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz	
NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz	
〃	〃	宮崎	1,467kHz	
AFN	AFN	佐世保	1,575kHz	
沖縄 (FM)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	〃	89.1MHz
沖縄 (AM)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	〃	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	〃	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	〃	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す(→9ページ参照)。 (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
CDやMDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。
MDが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ラベル面を上にし、◀や▶の表示に従って正しく入れる。 ● すでにMDが入っているときは、MD▲(取出し)ボタンを押して取り出す。
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 →ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。
CD-R/RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。
MDの取り出しができない。(「MC」が点滅表示する)	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 →MD/AUX ボタンを押したままMD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す(→19ページ参照)。
CDの取り出しができない。(「CD」が点滅表示する)	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 →CD/CD-CH ボタンを押したままCD▲(取出し)ボタンを同時に2秒以上押す(→23ページ参照)。
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"> ● CD-R/RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 →ラベルなどを張ったディスクは使用しない(→7ページ参照)。

故障かな?と思う前に(つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none">● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を正しく接続する。● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている場合、本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。● 放送局の周波数に正しく合わせる。● 携帯電話などを本機から離す。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none">● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
電源を切っても「ATT」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none">● ⏻/I(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで…1秒以上…押す。
電源が入らない。 (DISPボタンを押すと) 時計は表示される	<ul style="list-style-type: none">● 「電源(ACCライン)」コード(赤)が接続されていないため● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため (⇒10ページ参照)。
iPodまたはD.PLAYERの電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● 正しく接続されているかどうか確認する。● ファームウェアを更新する。● iPodまたはD.PLAYERのバッテリーを充電する。
iPodまたはD.PLAYERの音声がひずむ。	<ul style="list-style-type: none">● 本機のイコライザーをフラットな状態にする(⇒35ページ)。● iPodまたはD.PLAYERのイコライザーをフラットな状態にする。
iPod nanoの音声が出力されない。	<ul style="list-style-type: none">● iPod nanoからイヤホンを取りはずす。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、致しかねます。

こんな表示のときは

表示	原因・処置
BLANK DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音されていないMDを入れたため。 ➔ 録音済みのMDと交換する。
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名、グループ名が記録されていないとき DISPボタンを押したため。
HIGH TEMP	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の内部の温度が異常に高くなっている。 ➔ CD▲(取出し)またはMD▲(取出し)ボタンを押したあとラジオに切換えて温度が下がるのを待つ。
NO PRE ADJ.	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響でプリセットデータに異常が発生している。 ➔ お買い上げの販売店にご連絡ください。
EJECT ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDまたはCDの取り出しができなかったとき。 ➔ MDまたはCD挿入口の障害物を取り除きMD▲(取出し)ボタンまたはCD▲(取出し)ボタンを押す。
LOAD ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● MDまたはCDが正しく挿入されなかったとき。 ➔ MDまたはCDの表面にキズや汚れがないか確認し、入れ直す。
MECHA ERROR IC ERROR	<ul style="list-style-type: none"> ● 内蔵のマイコンが誤動作したため。 ➔ リセットボタンを押す(➔9ページ参照)。
NG DISC 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽以外のMD(データMD)を入れたため。 ➔ 音楽が録音されているMDを入れる。
「MD」または 「CD」が点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 ➔ 盗難防止状態を解除する(➔19、23ページ参照)。

故障かな?と思う前に (つづき)

表示	原因・処置
●CDチェンジャー	
NO FILES	●ディスクにMP3ファイルが含まれていない。 →MP3ファイルが記録されているディスクを再生する。
NO DISC	●CDが入っていないトレイを選択したため。 →マガジンのトレイにCDを入れる。
NO MAG	●マガジンが入っていないとき、ソース音源を「CD-CH」にしたため。 →CDチェンジャーにマガジンを入れる。
RESET 8	●CDチェンジャーとの間で通信エラーが発生したため。 →CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	●CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 →CDチェンジャー取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。
●iPod、D.PLAYER	
NO FILES または NO TRACK	●iPodまたはD.PLAYERに音楽ファイルが含まれていない。 →iPodまたはD.PLAYERに音楽ファイルを記録してから接続する。
DISCONNECT	●iPodまたはD.PLAYERが正しく接続されていない。 →iPodまたはD.PLAYERとの接続コードを確認する。
RESET 8	●本機とインターフェースアダプターとの間で通信エラーが発生したため。 →本機とインターフェースアダプターとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	●本機とインターフェースアダプターとの間、またはインターフェースアダプターとiPod/D.PLAYERとの間で通信エラーが発生したため。 →アダプターを本機とiPodまたはD.PLAYERから取りはずし、再度接続し直す。
ERROR 01	●D.PLAYERが正しく接続されていない。 または、インターフェースアダプターとD.PLAYERとの間で通信エラーが発生したため。 →D.PLAYERを取りはずし、再度接続し直す。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」をご覧くださいのうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

45～48ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

MDプレーヤー部

- 型 式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
- 再生時間：再生モードSP：80分
(MD80使用時) LP2：160分
LP4：320分
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：20Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：92dB
- S N 比：93dB

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)

FMチューナー部

- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)

AMチューナー部

- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
AUX(ϕ 3.5ステレオミニ)
×1
- 出力端子：RCAピン×1系統
2.0V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×
奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×
奥行169mm
- 質量：約2.1kg(付属品含まず)

- 本機は、ドルビーラポラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)……………1
- ・ネジ(M5×8mm)……………8
- ・皿ネジ(M5×8mm)……………8
- ・マウンティングプレート(日産車用)………1

別売りのオプション品

- ・MDレンズクリーナー：CL-MLA
- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・インターフェース：KS-PD100(iPod用)
アダプター
KS-PD500(ビクター製
D.PLAYER用)
- ・RCA PIN コード：CN-203A(長さ1.5m)
- ・変換コード：KS-U57(RCAプラグ)
KS-U58(ステレオ
ミニプラグ)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店で求めください。
(品番は変更されることがあります)

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



用語索引

アルファベット・数字

BTL	6
CD-R/CD-RW	7、21、45
PSM	11
SSM(ストロングステーションメモリー) ..	12、13
1 曲リピート演奏	18、22、26
8 センチCD	7、20

ア行

アンテナリモート	15
イントロスキャン	18、22、27
オート選局	9、12、13

カ行

グループスキップ機能	9、17
------------------	------

サ行

サーチ	16、20、25、29
シーク	12
スキップ	9、16、20、25、29、45

タ行

ダイレクト演奏	17、21
盗難防止	19、23、47
道路交通情報	14

ハ行

バランス	34
ヒューズ	4、6
フェーダー	34
プリセット選局	12、13

マ行

マニュアル選局	9、12、13
---------------	---------

ラ行

ランダム演奏	18、22、26、30
リピート演奏	18、22、26、30

アンケートおよびユーザー登録のお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、アンケートおよびユーザー登録にご協力をお願いいたします。

- 下記アドレスのホームページより、ご回答ください。

<http://www.jvc-victor.co.jp/reg/car/>

ご相談や修理は


ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」を
ご覧ください。

 0120-977-846 (フリーコール)

FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、49ページをご覧ください。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

カーAVホームページ <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12